××年後の自分の姿は？

「化学工学卒業生が学生に語る会」とは

学部生の皆さんは、日々与えられる知識や技術の習得に精一杯で、自分が将来どのような道に進むか、そのためには何を身に付けなければならないのかを考える機会は少ないと思います。

そこで化学工学教室では、「化学工学卒業生が学生に語る会」と題し、産学界で活躍する卒業生を講師として招き、ご自身の経験を在学生にお話しいただく講演会を年１回開催しています。この会は教室創立50周年の1990年に始まり、今年で19回目を数えます。

産業界の先輩方からは、どのような仕事をしているのか、そのためにはどのような知識が必要になるのかなど、企業において研究者・技術者として生きていく中で得た貴重な経験談や、後輩へのアドバイスをうかがうことができます。一方、本教室の博士後期課程在学者からも、皆さんの先輩としての立場から、自分の進路を選んだ動機や大学での研究生活に伴う喜怒哀楽など、普段の講義とは趣の異なるお話を聞くことができます。

また、懇親会には講師の先生方の他、教員や先輩学生も参加しますので、企業のこと、大学院のことなど、気軽に聞くことができ、自分の将来像を掴む絶好の機会になるでしょう。

京大会館
京都市左京区吉田河原町15-9
075-751-8311(代)

洛窓会・産学間交流委員会
合同講演会・懇親会

第19回 化学工学卒業生が学生に語る会

卒業してから××年
ーこんな世界もありますよー

日　時：　平成20年6月19日(木)
14:45～15:00　受　付
15:00～17:50　講演会
18:00～20:00　懇親会
会　場：　京大会館
参加費：　無料（講演会、懇親会ともに）

講演プログラム

15:00　開会挨拶

15:10　「ものづくり」におけるエンジニアの本質
木曽　盛夫　氏（キヤノン(株)）

15:40　総合化学メーカーでの仕事
藤澤　拓司　氏（住友化学(株)）

16:10　休憩

16:30　京都大学化学工学専攻に留学して
金　鎮雄　氏（SK Energy/京都大学化学工学専攻 D2）

17:00　かつらいふ ～学生の視点から見た化学プロセス工学コース～
山本　大吾　氏（京都大学化学工学専攻 D1）

17:30　アンケート調査
17:50　閉会挨拶

「ものづくり」におけるエンジニアの本質

木曾　盛夫　氏（キヤノン株式会社）
1996年 京都大学大学院工学研究科化学工学専攻 修士課程修了

化学工学とは縁が薄いと思われがちな精密機器メーカーに勤めて早１２年。途中で太陽電池事業の撤退という憂き目にも遭遇しながら、「製品開発」、「製造現場」、「研究開発」とメーカーにおける一通りの仕事をしてきました。なかでも、入社３年目のとき工場に常駐した一年間は日々発生する想定外のトラブルに打ちのめされながら、「エンジニアの本質とは何か？」を自問自答する良い機会を得ました。その経験を踏まえ、ものづくりの現場におけるエンジニアの仕事をご紹介したいと思います。

京都大学化学工学専攻に留学して

金　鎮雄　氏（SK Energy/京都大学大学院）
1996年 延世大学大学院化学工学専攻 修士課程修了
京都大学大学院工学研究科化学工学専攻材料プロセス工学分野 D2

私は韓国からの留学生ですが、同時にSK Energyという韓国の石油会社の社員でもあります。来日してちょうど２年が過ぎようとしています。今回の講演では、留学を決意した経緯や、京都大学を選んだ理由、実際に留学してみて感じたこと、経験したことなどをお話ししたいと思います。また、化学工学出身者が多様な分野で活躍できることを、私の友人たちを例にしてお話しし、石油会社で化学工学出身者が担う役割についても紹介したいと思います。海外留学や進路選びの参考になれば嬉しく思います。

総合化学メーカーでの仕事

藤澤　拓司　氏（住友化学株式会社）
1997年 京都大学大学院工学研究科化学工学専攻 修士課程修了

日本を代表する総合化学メーカーの一つである住友化学に入社し、気がつけば１１年が経過しました。当社はいわゆる化学品の製造から液晶テレビで使用される各種材料まで、幅広い製品を生産しております。そのなかで化学工学出身の技術者がどのような仕事をし、どのような役割を担っているのか、私の経験を中心にお話させていただきます。また、大学での勉強（研究）がどのように役立つかについても紹介したいと思います。

かつらいふ ～学生の視点から見た化学プロセス工学コース～

山本　大吾　氏（京都大学大学院）
2008年 京都大学大学院工学研究科化学工学専攻 修士課程修了
京都大学大学院工学研究科化学工学専攻界面制御工学分野 D1

化学プロセス工学コースを選択してから、早や四年が経ちました。昨年、化学工学専攻修士課程を修了し、今は博士後期課程一回生として、日夜、研究、時には娯楽と「かつらいふ」を満喫しています。このような場で講演するにはまだまだ未熟で経験も浅いですが、その分、難しい話は抜きにして皆さんに近い学生の視点から化学工学、そして「かつらいふ」をお話できるのではないかと考えています。コース選択は人生の岐路だと思います。本コースに少しでも興味を持っていただけたら幸いです。